

岡山市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた  
平成29年度の目標とその達成状況

**目標①：平成29年4月から、自立支援協議会において、精神保健福祉領域における課題整理と政策提言を推進するため、地域精神保健福祉連絡会と分離した精神保健福祉部会での活動において、精神障害者の地域生活支援体系に係る協議を行う。**

**【達成状況】**

- ・自立支援協議会精神保健福祉部会について、従来は各地区の医療機関や事業所の実務担当者が出席していたが、平成29年4月から、保健・医療・福祉の関係者、当事者、家族から意見がいただけるよう体制を見直した。
- ・上記部会を年6回、同部会のコアメンバー会議を年6回開催した。（いずれも隔月開催）
- ・上記部会において、保健・医療・福祉それぞれの立場から、精神障害者の地域支援についての意見を出し合い、「岡山市障害者プラン」の平成29年度中間見直しに向けて意見をまとめた。

**目標②：引きこもり支援の一環として、ピアサポーターの個別訪問事業の充実を図るため調整にむけて協議を行う。**

**【達成状況】**

- ・個別訪問に限らず、面接や小集団活動等も含めた引きこもり支援にピアサポーターを活用できるよう、ピアサポーターの養成について検討するとともに、事業の予算化に向けて調整を行った。

**目標③：障害福祉サービスにおける地域移行支援の一層の活用に向けて、医療機関職員に理解を深めていくため、事業所職員らと医療機関への周知を図る。**

**【達成状況】**

- ・精神保健福祉法改正案への対応を想定し、措置入院患者の退院後支援のための個別ケース検討会議等を、モデルケースとして4例実施した。
- ・上記モデルケースにおいて、医療機関及び地域援助事業者の参加協力を得られたため、地域移行支援の活用に向けた連携の土台作りができた。
- ・地域移行・地域定着支援事業実践報告会を年1回開催し、精神障害者が安定した地域生活を送るために必要な事項について、医療機関職員や相談支援事業所等と共有し、退院支援に活かした。

平成30年度の実行方針

1. 自立支援協議会精神保健福祉部会を定期的で開催し、精神障害者の地域支援について協議を行う。
2. ピアサポーターの養成及び活用の推進に向けて検討を行う。
3. 措置入院患者の退院後支援体制の整備に向けた研修会等の開催し、研修会に参加する医療機関や事業所に対して、平成29年度にモデルケースとして実施した個別ケース検討会議の事例を普及することにより、障害福祉サービスにおける地域移行支援の活用を促進する。
4. 平成29年度に実施した長期入院患者調査の結果について、医療機関、相談支援事業所、保健・医療・福祉関係者による協議の場にフィードバックすることにより、地域移行支援の充実を図る。